



令和7年度

横中だより

第1号

R7.4.8

【学校教育目標】 よく学び 心を正し 全力尽くす

対応力と適応力を身に付け向上させよう！

横瀬中学校長 富田 勲

本日の始業式では新2・3年生に向けて、先輩として、学校の「顔」として、開校以来78年の歴史と伝統を受け継ぎながらも自分たちの色を加え、より品位溢れる横瀬中学校を築き上げてほしいという話をしました。続く入学式では式辞として次の話をしましたので内容を掲載します。新入生に向けての話でしたが、在校生にとっても必要な力となりますので、確認しておいてください。

本日横中生となった52名の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を私たち教職員、在校生一同、心から歓迎いたします。一人一人の皆さんの緊張した表情の中に、中学生となった喜びと強い決意を感じ、大変心強く思います。3月には、横瀬小学校の卒業式に参加させて頂きましたが、皆さんの立派な姿に感動しました。一つ一つの動作、呼びかけや合唱などを聴いて、さすが横瀬小学校を引っ張ってきたリーダーだと感心しました。小学校で身に付けた多くの知識や経験を中学校でも十分に発揮してください。

中学校での3年間は、まさに、人生の中でも大きな成長期と言えます。この時期に教科の学習や運動だけではなく、人として学べる大切なことがたくさんあります。そこで、今日からの中学校生活で、皆さんに身に付けてほしいことを一つお話します。それは、「対応力と適応力を高めてほしい」ということです。対応力とは、具体的な問題や課題に対して適切な対処法を見つける力のことです。適応力とは、長期的な変化や新しい状況の中で柔軟に自分自身を変える力であり、変化に応じて進化していく能力のことです。

これまでも学校は大きく変わってきています。小学校から英語やプログラミングの学習が行われ、リモートやオンライン授業も当たり前となりました。私が教員になった頃には想像もつかないほど変化しています。このように、学校だけではなく、社会全体が日々変化しています。このような変化の激しい社会の中で皆さんは生活していくこととなります。逃げたり避けたりすることもできますが、ずっと避け続けるわけにはいきません。時には理不尽なことに意見したり、周りの考えを受け入れて合わせたりすることも必要となってきます。これからの人生に必要な対応力と適応力を、中学生となった今日から少しずつ意識をして、高めていってください。横瀬中学校には、高い対応力と適応力を身に付けている先輩達がたくさんいます。生徒会活動や部活動・学校行事などを通して、先輩の姿からも多くを学んでほしいと思います。

地域・保護者の皆様へ

横瀬中学校では52名の新入生と5名転入職員を迎え、新年度をスタートさせました。生徒一人ひとりが横中生としての誇りを持ち、伸び伸びと成長できるよう、地域や保護者の皆様と共に見守っていきたいと思います。今年度もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。